

Doc.No : NR020206-1

2002年2月6日

## デジタルカメラの画像を最適な印刷画像に自動変換する 画像処理ソフト「ColorGenius DC」を販売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、デジタルカメラで撮影された画像データを商業印刷物に最適なデータに自動変換する画像処理ソフト「ColorGenius DC(カラージーニアス・ディーシー)」を、2002年2月9日から販売します。

このたび発売する「ColorGenius DC」は、一眼レフのデジタルカメラの画像データ(RGB)を印刷に最適化されたデータ(CMYKインキ4色)に自動的に変換。さらに、インクジェットカラープリンター(カラーマネジメントを含む)と組み合わせることによって、印刷段階でのデジタル画像の色再現・階調再現の見本が得られます。「ColorGenius DC」は、当社スキャナー専用画像処理ソフトをベースにし、当社が培ってきた印刷向けの画像処理ノウハウを搭載。AIセットアップ機能とファジー推論エンジンの組み合わせによって、キーワード選択だけの簡単な操作で個々の画像の最適化ができます。また、ある画像に対して行った処理をレシピファイル(\*注)として保存でき、そのファイルを用いて自動変換させることができます。従って、画像(人物、風景、商品など)の性質、クライアント(A印刷会社、Bデザイン会社)の要望、カメラの違い(X、Y社製)などに合わせたレシピファイルを個別に設定できるので、画像点数が多いカタログやパンフレット向けの画像処理に高い生産性を発揮できます。

消費者へより機動的な販売促進が求められる中、その販促ツールの商品パンフレットや通販カタログなど商業印刷物の製作において、企画から仕上がりまでの期間短縮やコストパフォーマンスが求められています。このような要求を背景に、商業印刷物に掲載する商品写真に高画質で瞬発力(撮影を即確認できる、印刷に即持ち込める、現像が不要など)のある一眼レフデジタルカメラの画像データの利用が始まっています。しかしながら、その進展はスムーズではありません。カメラから得られるRGB画像データは、最終の印刷段階に達するまでのいろいろな処理の中で商業カメラマンの意図しない画像になって印刷される場合が見受けられ、デジタルカメラの画像データの利用に不安が存在します。デジタルカメラは写真撮影から印刷物の企画制作までのワークフローを完全にデジタル化する可能性を秘めているものの、これを実現するにはカメラマンと印刷物制作者とのRGB画像データの取扱ルールが必要とされています。

「ColorGenius DC」は、このような問題を解決するソフトで、印刷のワークフローを通して、カメラマンの意図を反映したデジタル画像データの色再現・階調再現が得られるため、従来のポジフィルムの取扱とほとんど変わらない信頼性の高い画像入稿の仕事環境が構築できます。また、これまで商品撮影からカラーポジフィルム入稿までアナログであった工程がデジタル化できます。これにより、全国約1万人と言われる商業カメラマンのデジタルカメラの導入が本格化すると期待されます。



● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

「ColorGenius DC」の1パッケージは、自動処理を行うサーバーソフトが1ライセンスと、シミュレーションを行いながら画像変換することができるクライアントソフト3ライセンスで構成されています。

なお、「ColorGenius DC」は、当社が2000年2月に発売した印刷製版業界向けスキャナー「Genascan 5500(ジェナスキャン5500)」の付属ソフトとして好評を博している「ColorGenius EX」をデジタルカメラ用にチューニングしたものの。

\*注：レシビ(=調理法または調合法)ファイルとは、画像データに施したいいろいろな設定や処理が登録されたファイル

「ColorGenius DC」導入のメリット

- ・デジタルカメラのRGB画像データを安心して、カラーポジと同様に付加価値の高い商業フォトとして流通させることができる。
- ・商業フォトのデジタルデータの自動処理によって、QCDE(品質の安定化、撮影コストの削減、納期短縮、現像処理なしで環境配慮)が図れる。
- ・印刷物の企画制作のデジタルワークフロー・ネットワークに「写真撮影」が完全に組み入れられる。

## < 発売日 >

2002年2月9日

## < 年間販売目標 >

1,000本

## < 国内希望販売価格(消費税別) >

35万円

(サーバーアプリケーション1ライセンス、クライアントアプリケーション3ライセンス)



## < 動作環境 >

コンピューター：推奨Power Mac G4以上(最低Power Mac G3以上)

OS：Mac OS 9.1以上

ハードディスク：推奨500MB以上の空き容量

メモリー：クライアント・サーバー環境で使用の場合、推奨512MB以上(最小286MB)

サーバーのみ使用の場合、推奨384MB以上(最小222MB)

クライアントのみ使用の場合、推奨384MB以上(最小160MB)

## < 対象デジタルカメラ >

あらかじめチューニングした対象機種は、以下となります。

Nikon D1X(オプションソフトNikon Capture 2)

Canon EOS-1D(付属ソフトAdobe Photoshop用プラグイン)

Canon EOS D30(付属ソフトAdobe Photoshop用プラグイン)

商業印刷物向けのスタジオ撮影を条件としています。

Adobe Photoshopは、各国で登録されたAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Macintosh、Mac OSはApple Computer, Inc.の登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## < 読者からの問い合わせ先(紙誌面掲載用) >

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジー事業本部 マーケティング部 事業企画課

Tel: 075-417-2687 Fax: 075-414-7608